

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 10 月 10 日  
東京電力株式会社

## <タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

### [処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・10/4 11:38 廃液処理水タンク内の水を浄化するため、除染装置の単独循環運転を開始。  
9/15 に除染装置の処理後に処理水の放射性物質濃度が上昇していることを確認し、同装置を停止した件について、その後の調査の結果、原因は攪拌機取り替えのために一次反応槽の水抜きを実施した際、高線量のスラッジ水が廃液処理水タンクに流入したことによるものと推定し、対応するもの。

### [貯蔵設備]

- ・6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

## トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・10/6 13:48 ~ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・9/30 10:00 ~ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・10/10 移送予定なし

移送先	移送先の水位状況 (10/10 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 2,937 mm(水位上昇累計: 4,154 mm) 10/9 7:00 から 138 mm 下降
雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 2,781 mm(水位上昇累計: 3,507 mm) 10/9 7:00 から 282 mm 上昇

## トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (10/10 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. <+ 850 mm (10/9 7:00 と同じ)	O.P.+ 4,951 mm (10/9 7:00 から 2 mm 下降)	O.P.+ 4,500 mm (10/9 7:00 から 41 mm 下降)
2号機	O.P.+ 2,866 mm (10/9 7:00 から 2 mm 下降)	O.P.+ 2,909 mm (10/9 7:00 から 2 mm 下降)	O.P.+ 2,996 mm (10/9 16:00 時点の値)
3号機	O.P.+ 3,362 mm (10/9 7:00 から 5 mm 下降)	O.P.+ 3,153 mm (10/9 7:00 から 22 mm 下降)	O.P.+ 3,300 mm (10/9 7:00 から 15 mm 下降)
4号機	-	O.P.+ 3,170 mm (10/9 7:00 から 5 mm 上昇)	O.P.+ 3,187 mm (10/9 7:00 から 5 mm 上昇)

- [3号機]・10/3 10:59 ~ 10/9 10:22 復水器からタービン建屋地下への溜まり水の移送を実施。  
水位計不調のため測定出来ないことから、至近の測定値を掲載。

<放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値)

・10/9 に採取した福島県沿岸 4 地点、沖合 5 地点の主要 3 核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

<使用済燃料プールの冷却> (10/10 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22~)	23.5
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21~)	26.0
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33~)	24.7
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08~)	33

[4号機]・8/20~ 使用済燃料プール塩分除去装置の運転を開始。

・10/6 22:32 警報発生に伴い、同装置が自動停止。(現在、停止中)

<原子炉压力容器への注入・原子炉の状況> (10/10 11:00 時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約 3.8 m <sup>3</sup> /h)	71.6	73.6	122.9 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約 3.6 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約 7.0 m <sup>3</sup> /h)	78.6	85.3	114 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約 2.2 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約 8.0 m <sup>3</sup> /h)	71.6	73.9	101.5 kPaabs

[4号機][5号機][6号機] 特に変化なし。

<その他>

- ・4/10~ 作業環境改善として遠隔操作による屋外の瓦礫撤去を継続実施中。
- ・6/28~ 1号機原子炉建屋カバー設置に向けた本体工事実施中。
- 8/10~9/9 1号機原子炉建屋カバー鉄骨組立を実施。
- 9/10~ 1号機原子炉建屋カバーのパネルの取付を実施中。
- ・10/7~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化後の水を利用し、散水を継続実施中。
- ・10/8 12:12~13:22 1号機格納容器ガス管理システム設置のため、1号機格納容器スプレイ系配管の窒素置換作業を実施。作業終了後、水素濃度の上昇が確認されたため、10/9も同作業を実施。
- 10/9 10:25~11:30 窒素置換作業を実施し、水素濃度が84A弁にて0.7%(11:20)、46A弁にて1.2%(12:40)に低下したことを確認。
- 13:09~14:14 46A弁にて水素濃度が1%以上であったため、窒素置換作業を再度実施し、水素濃度が84A弁にて0.5%(13:39)、46A弁にて0.9%(14:15)に低下したことを確認。その後、水素濃度状況を傾向監視。(84Aの弁については、水素置換ラインとして使用し、当該箇所の切断はなし)
- 17:07~22:30 46A弁より窒素を封入、水素を排出しながら配管切断作業を実施(46A弁にて0.5%(17:02))。作業後の水素濃度はほぼゼロであり、また、モニタリングの結果、環境への影響がないことを確認。